

日吉台地下壕保存の会

会報

第16号

発行 日吉台地下壕保存の会

編集 事務局

〒223

横浜市港北区下田町3-15-27

電話 045-562-1282 (寺田貞治)



連合艦隊司令部地下壕の作戦室の見学者

頁

1

2

2

4

5

5

8

8

- | | |
|---------------------|---|
| 目 次 | 頁 |
| ○第4回総会を迎えるに
当たって | 1 |
| ○お知らせ | |
| 第4回総会の案内 | |
| 総会当日の映画の案内 | 2 |
| ○第10回幹事会報告 | 2 |
| ○第11回幹事会報告 | 2 |
| ○ある通信隊員の回想 | 4 |
| ○地下壕見学会感想文 | 4 |
| ○お願い | 5 |
| ○編集後記 | 5 |

第四回総会を
迎えるに当たつて

事務局長 寺田貞治

保存の会が発足してから三年がたちました。この間会員の数は順調に伸び、日吉台地下壕の存在や保存運動について、かなり世間に知られていきました。しかし保存の見通しは一憂一喜ですが、少しづつ着実に前進していることは確かであろうと思います。

昨年から今年にかけて、強制連行や従軍慰安婦の問題が大きく取り上げられました。アジアの国々から、これらの人々の戦後補償の要求が日本に対してなされています。ドイツやイタリアは既に実施しており、アメリカも日系人の強制収容に対して補償しています。日本だけがほほかむりしてすますことが出来るでしょうか。世界の国々と仲良くやって行くためには、近現代史を正しく学び、アジアに対してもやるべきことは、きちんとやっておくことが大切です。日吉台地下壕は生きた現代史を学習することが出来ます。早急な整備・保存が望まれます。

総会には、一人でも多くの会員の方々に来ていただき、保存運動の前進のために話し合い、総会を成功させたいと思います。皆様お誘い合せの上、多数の方々のご参加をお願いします。

氏に、機会があつたら講演をして頂けるようお願いしました。

六、二月八日：ふれあい館の「人権尊重学級」の講演の時、講師のN H K 国際局チーフディレクター田辺寿男氏に、機会があつたら講演をして頂けるようお願いしました。

七、二月九日：聞き取り調査

M氏の話：大聖院裏の地下壕は殆ど朝鮮人労働者が掘つていて、海軍が民間の土建業の監督を使って掘らせていた。朝鮮人は軍の方から割当（一組三〇人ぐらい）で送つてきただ。飯場は賛輪の方にあつた。地下壕は主につるはしで掘つた。固いところはハッパをかけていた。出た土はトロツコで田圃に捨てた。日本人労働者もいたが、労働のきついところは朝鮮人労働者がやつた。金蔵寺の西にあるE氏の家は、元朝鮮人が借

りていて、たくさんの朝鮮人労働者がいた。ここにいた朝鮮人は殆ど日本語を話した。朝鮮人労働者は、戦後殆ど朝鮮に帰つたが、残つた人もいた。木下、林などの日本名を名乗つていた人が残つてたが、二人とも亡くなつた。その他、朝鮮人は新丸子や菊名にすいぶん住んでいた。

W氏の話：W氏は、當時中学三年生で、潜水艦で石油を運ぶために、羽二重とゴムを幾重にも重ねて石油を入れる大きな袋を造つていた。一九四一年ごろ南吉に大塚工場を造るので、吉に大塚工場を造るので、地下壕保存についての県の窓口は、国際交流課になり、委員会に出席され地元のI氏が、取り仕切つていて。ここにいた朝鮮人は、殆ど日本語が話せず、戦後すぐ朝鮮に帰つて行った人が多かつた。在日ではなく朝鮮から連れてこられた人のようだつた。独身の二〇才前後の若い人が多かつた。ときどき、お腹がすいているからといつてトウモロコシを貰いにきたといふ。みんな礼儀正しかつた。當時日本人は黙つて烟からもつて行く人が多かつた。飯場は、A氏の現在に住んでいた朝鮮人に掘つ

になつてゐる所から土を埋立地までトロツコで運んでいた。

戰時中、日吉台小学校に朝鮮人の子供がきていた。

渡辺氏は、彼らに朝鮮語の教科書を見せてもらつたことがあるという。

日吉本町の赤門坂を下つたところにも朝鮮人の飯場

があり、少なくとも三〇人ぐらいの人があつた。ここは地元のI氏が、取り仕切つていて。ここにいた朝鮮人は、殆ど日本語が話せず、戦後すぐ朝鮮に帰つて行つた人が多かつた。在日では

なく朝鮮から連れてこられた人のようだつた。独身の二〇才前後の若い人が多かつた。ときどき、お腹がすいているからといつてトウモロコシを貰いにきたといふ。みんな礼儀正しかつた。當時日本人は黙つて烟からもつて行く人が多かつた。

戰争と平和を考える史跡として残すことである。

九、二月一日：国会議員団の地下壕視察について電話で打ち合せをした。詳しい日程はこれから。

幹事より

保存の目的は、朝鮮人問題を主にするのではなく、あくまでも日吉の地下壕から見える戦争の実相を知つてもらい、戦争と平和を考える史跡として残すことである。

W氏の防空壕は、元住吉

てもらつた。当時、元住吉や網島には朝鮮人がかなり住んでいた。多くの人は朝鮮に引き上げて行つた。

南の人が多かつた。

八、二月一日：「神奈川と朝鮮との関係史」調査委員会。委員会には県の国際交流課の方も参加されている。

地下壕保存についての県の窓口は、国際交流課になり、委員会に出席されており、委員会に出席され

てゐる交流課の方に会報第一五号を渡し、その中に書かれている保存についての要望書の案を説明した。

九、二月一日：国会議員団の地下壕視察について電話で打ち合せをした。詳しい日程はこれから。

幹事より

保存の目的は、朝鮮人問題を主にするのではなく、あくまでも日吉の地下壕から見える戦争の実相を知つてもらい、戦争と平和を考える史跡として残すことである。

一、地下壕見学会について

三月一日または三月八日

一時半：地下壕徹底調査

1 国会議員団の地下壕視察

について

2 県知事と市長への陳情

近いうちに県知事に要
請書を持つていく。

三、調査活動について

慶應関係、朝鮮人関係、地
元住民関係、旧海軍関係等

地図をつくり区域を決めて
調査をする。

四、イベント開催について

小林直樹氏、NHKのディ
レクター、獅子ヶ谷の地下

壕の金子氏などの講演。
総会までに発行したい。

六、会報第一六号の発行
三月～四月に発行予定。

七、四・四回総会について
四月一八日（土）二時

総会とイベント
八、その他

戦時中の化学関係の会社の
地下壕が獅子ヶ谷にあり、

最近地下壕から化学物質が
流れだしていく問題になっ
ている。金子氏は、その近
くの方である。

の原政春氏、元朝鮮人の方

で帰化されたN氏、I商店

のおばさん（夫婦とも元朝

鮮人）、戦前からの土建業

の花村建設の一族（出は朝

鮮人の方で帰化されている）

三月一日

六、二月二三日：地下壕出入
の花村建設の一民族（出は朝
鮮人の方で帰化されている）
の方からの聞き取り。

三月二〇日：神奈川県

「朝鮮史」調査＝大磯と二

月五日：矢上橋近く

の吉本正一氏、渡辺威氏か

らの聞き取り。

八、二月二七日：地下壕出入

口近くの加藤豊氏からの聞
き取り。

九、二月八日：幹事による地
下壕徹底調査。東急ケーブ
ルTVが取材。

日吉会（二〇数名）で一〇

月三日（土）に地下壕を見
学したいという要望あり。

一〇、その他：九〇・九一年
度の会費未納者に、九三年
度分も含めて会費納入の手
紙を振り込み用紙を同封し
て郵送した。今だに納入者
無し。

一一、日程：四月一八日

午後二時～五時

一二、第四回総会について
徹底調査については総会
後に行う。

一三、日程：四月一八日

午後二時～五時

一四、映画「戦争と青春」
の上映

一五、役員候補：幹事を増やす。

一六、三月二十四日（日）の日吉

三月下旬～四月上旬予定

の聞き取り。

二、保存運動の進め方

三月二十四日に打ち合わせ

1 国会議員団の地下壕視察

2 県や市当局への働きかけ

について

三月中に知事秘書の藏氏

を通じて要請したい。

三、調査活動について

1 慶應関係、朝鮮人関係、
地元住民関係、海軍関係

2 大倉山の地下壕の調査に
ついては金子氏に連絡し
てから決める。

300人参加の予定

二、保存運動の進め方

三月二十四日に打ち合わせ

1 国会議員団の地下壕視察

2 県や市当局への働きかけ

について

三月中に知事秘書の藏氏

を通じて要請したい。

三、調査活動について

1 慶應関係、朝鮮人関係、
地元住民関係、海軍関係

2 大倉山の地下壕の調査に
ついては金子氏に連絡し
てから決める。

六、会報第一六号の発行

について

総会の案内、幹事会報告、

地下壕見学感想文、

九二年度会費納入の案内

七、運営委員会：三月二六日

ある通信隊員の回相心

元連合艦隊司令部

通信隊員 S氏

昭和二〇年二月、防衛校を

卒業して、日吉に到着。テニ

スコートか戸道場か、古い木

造の建物に二・三日、何もし

ないで泊まっていた。その後

大きな家で、中通路に両側で

五・六〇人位の兵隊（兵曹長

二名、ほか兵曹・兵）と一緒に

に住んでいた。

毎日壕の中の通信室に勤務

に通つた。後で、壕の中で満

の落ちるベットでの生活とな

り、通信室もとなりで便利だ

った。通信室を出ると右に医

務室があり、その奥に会議室

があつて、上官の出入りが多く大変だった。

空襲のたびに医務室に負傷者が担架で入り、うるさかつた。何人かはわからないが、毎日毎日忙しい様子でした。

ある日、医務室の窓から覗いてみると、片足をももから切

断するところだった。軍医が、

ウイスキーを一杯ひっかけて、

ペットにしばつた体を生のま

ま鋸で切る。その時、兵隊は

殺してくれと吠え叫ぶ。これ

が明日は俺の番かと、人ごと

でなく身にしみた。

通信室と並んで暗号室があ

り、電報はすぐ出来上がる。

電報を持って階段をかけ上が

ると、地上には大きな建物が

あり全部海軍が使つていた。

慶應大学の寄宿舎だ。その横

に金網を張り、七面鳥を飼つ

て、召募兵にあつかわせてい

た。七面鳥の好きな司令長官

だつた。その豊田副武連合艦

隊司令長官に、七面鳥の前で

電報を渡した事がつた。

壕の出入口の外にはタバコ

ボン（かまぼこ兵舎）があつた。そこには勤務や会議を終えた兵隊が集まつて、いろいろと会話がはずんだ一番の気

休めの場所だつた。

ある日、タバコボンに会議を終えられた三笠宮殿下がこ

られて、いろいろと兵隊に来

る前に古里で何をしていたか

聞かれて、それに答えたこと

が悪いと後でひどい制裁を受

けたことがある。直接殿下に

は話してはならないことにな

つていた。殿下は陸軍代表で、

陸海軍参謀会議に出席してい

た。

日吉は、横浜、川崎、東京

と、まわりがどんどん焼けて、

工場の油タンクが爆発して燃

える火と煙で、夜昼の区別が

つかないほどだつた。

空襲の時は、一般の国民も

防空壕に入つてきた。薄ぐら

い壕の中で、空襲におびえな

がら赤ちゃんを背負つて、三

才位の子供の手をひいて、非

常用にもつた炒り豆を袋から

握り出して、「兵隊さん、

お願ひします」と言われた。

その時、軍人として責任の重

大さが身にみた。しかし負

ったでしようか。忘れること

の出来ない思い出となつてい

ます。

書きたいことは沢山あります

が、書くことが商売であり

ませんので、思ったことの百

分の一も書けません。同年兵

や仲間がいれば思い出も沢山

出ると思いますが、全く消息

がつかめません。書くことは

苦手ですが、話せば二日も三

日もまだ続くと思いません。

地下壕見学感想文

一一月二日（横浜市小中学校
教員団体・在日韓国朝鮮人児童生徒の教育を考える会）

お忙しいところを本日は貴

重なお話を本当にありがとうございました。

強制連行のことについてい

いろいろ自分なりに关心を持ち調べているのですが、このことともせひ教材化してみたいと思います。私の場合は筑豊の強制連行について特にこだわっているのですが、本校の前には岸根公園が広がっていますが、ここもかつては米軍基地でした。

地域の歴史を掘り起こし、それから子供達と共に戦争や平和について考えていました。お仕事と保存会の運動で本当にご多忙の毎日かと存じますが、お体に気をつけられて頑張って頂きました。ありがとうございます。ありがとうございました。

六角橋中学校教諭

一一月三〇日（県立高校教職員組合「民族差別と人権」問題小委員会）
〔1は見学の動機、2は感想、3は保存についての意見〕
*1 動員のため。2こんな場所にも戦争の跡が残っているとは思わなかった。3ドロ

を早くかたづけて保存してほしい。

*1こんなところに地下壕があつて何をしていたのか興味を持ったので。2電気を消したとき、ここで何が行われていたのか、思いを深くすることができた。3ぜひ保存授業ができたらよいと思いました。

*1私自身障害者であり、差別問題で共通するものを感じたから。2こんなに立派と人は思わなかつた。改めて朝鮮人労働者の受けた苦難を思う。3賛成ですぜひ協力したい。

*1以前市ヶ谷の地下壕を見学し、海軍の方もといふことで。2市ヶ谷の時は陸上自衛隊の広報担当が、昔の陸軍のことを自慢していたのでとても不快であった。今日は地下壕のことを客観的に理解できたようだ。3ぜひ保存すべき。

*1歴史を民衆レベルでどうにしたい。保存会に参加しますので宜しく。

い。2事前の説明にもう少し時間をとつて欲しかつた。3年間レベルでの運動を盛り上げ、行政を動かすことが大切と思う。地権者の同意・協力を取り付ける必要を考えると、必要と思う。

*1教研ニュースを見て、2天井に残された碍子が印象に残つています。もつとPRして、この存在を宣伝して、気軽に入れるよう整備すべきだと思います。私の出身県にでも、中國人が掘つた穴がありましたが、今まで他の地下トンネルのことは全く知りませんでした。いい勉強になりました。3後世に残すべくぜひお願いします。

*1神奈川県の戦争の遺跡を体験したかった。2実際にみて、説明を聞き、イメージがつかめてよかつた。3ぜひ

とも、保存し見学できるようになりたい。保存会に参加しますので宜しく。

*1今日、同僚に誘われて、2戦争中の形見が我々のまわりに残つていないことを実感しました。また父親が話す戦争体験を思い出しました。3特にありません。

*1ぜひ見たい。2わずか数カ月の間に、とんでもないものをつくつたものです。多くの朝鮮の人々も死んだ（殺された？）のでしょうか。やりきれなさを感じ、平和を訴える必要性を感じました。

*1日本の近現代史－特にアジア太平洋戦争について知りたいと思っているので。2松代大本営や沖縄のガマと違い、コンクリート固めにされ、その立派さにびっくり。多くの人々を死なせた指令の数々をここから発したと思うと、慄然とする。3追つて入会金をお送りします。頑張つて下さい。

*1どの程度の大きさか一度見てみたかった。2大きな部屋があるのかと思ったが、長く迷路のようになつてゐる

のがわかった。3ぜひとも歩きやすいようにして大勢の人見学してもらいたい。

*1有隣を読んで興味を持っていたのだが、ちょうど教研からの呼びかけがあつたので。2ただただ圧倒された。

当時の様子を想像することは難しいが、現在の残されていいる状態そのものの圧迫で思苦しくなるほどだった。3ぜひ整備し、保存していただきたい。

ただ松代のようにクリーンな観光地にしようという動きに

対しては反対で、できる限り今はまで。

*1実際に見ることにより当時の様子を知りたいと思つたから。2本で読んで知つてみるといつても、やはり实物でみると当時のなまなましさがよくわかつた。まことにすごいとうしかない感じです。3ぜひ残して下さい。

*1そのようなものがあるのは知らなかつたし、見てみたいくつた。2講師の方の努力に頭の下がる思い。この

ような地道な運動は大変だ。3ぜひ保存すべきであろう。

行政は動かないのか。

*1教科書に生かしたい。

2重要な歴史資料となるので、一般公開できるよう整備すべきです。3ぜひ子孫に伝えるべきものだと思います。

*2沖縄は前にみましたが、私が住んでいる井田の隣りにこんな地下壕があるとは驚きました。(父はシベリア抑留者です)。70年頃、家の前の大正橋のたもとから不発弾を取り出したのを見たこと、父に慰問袋を送つてくれた香川の人々に、私が挨拶に行つたことなどが、私の戦争体験でした。今度はもっと大きな体験をしたように思います。

*1実際に見ることにより、川の人に、私が挨拶に行つたことなどが、私の戦争体験でした。2本で読んで知つてみるといつても、やはり实物でみると当時のかく大きな地下壕だった。3ぜひ個人では見られないの参加しました。また、戦争の遺物を保存する必要があるので、ぜひとも一見する必要があつたから。2日本政府の保存に積極的でないことは、

て恥ずかしいことである。直には縁がないが民族として語り伝えて行く必要性を感じた。3ぜひ必要である。

*2迫力があつた。ありがとうございました。3今までの方が加工されなくてよいよう気がする。ただ公道側の通路の再開とドロ対策は必要ですが。

*1神高教の案内を見て。沖縄戦の教材研究をしていくうちに司令部壕としての本壕に関心を持つた。2勉強になりました。3会員になりました。

*1地元、神奈川における在日朝鮮人に関する強制連行

ます。

していること、及び戦争と平和の問題を考えるために、2松代より小さいが身近にある壕を見て実感が迫つてきた。もつとじっくり時間をかけて見てみたい。他の壕も知りたい。

*1沖縄戦に興味があり、

その関係で、2歴史を身近に感じました。3ぜひ保存すべきです。できることは協力したいと思います。

*1戦争の跡を目にすることができる貴重な機会だと思ったため。2思つていたものより立派でびっくりしました。これだけのものをつくるためにどれだけの労力が必要だつたかと思うと、強制連行の罪深さを感じます。3先ず一般的には殆ど知られていないと思います。できるだけ多くの人にこのことを知らせる機会が必要なのではないかと思ひます。

*1授業で強制連行について取り上げているので。身近にもその遺構があることを知りたいと思つたから。2今までその存在すら知らなかつたので巨大な地下壕に驚きました。壕から出てきたばかりで非常に複雑な思いです。家に帰つても一度考えてみます。3ぜひ行政に何とかしてもらいたい。横浜市民でもその存

在を知らない人が多いのでもつと広く知つてもらえるようになつたらしいと思ひます。私も授業で話してみます。

*1 強制連行の跡を訪ねたいと思ったので。2とても刺激されました。少なくない卒業生を慶應大学に送り出しながら、何人がこの存在を知つているのでしょうか、恥ずかしく思います。

*1 以前より寺田先生からお話を聞き、ぜひ行ってみたいと思っていたので。2こんな身近なところにこれだけ大規模な海軍施設があるとは知らず、本当に驚きでした。強制連行された朝鮮人の実態がもう少しわかれば・・・と思ひます。3石灰がとけ出していところを目の当たりにして、早急な保存の必要性を痛感しました。慶應の生徒さんも関心を持つてくれるとよいですね。

*1 組合、民族差別と人権小委員会のメンバーとして。

2以前、松代大本營の地下壕に行つたことがあります。ともに戦争の時の我々日本人の愚かしさを実感しました。松代よりも、しっかりとコンクリートがうたれているのが少々驚きました。地盤の違いでしょうか。3このような戦争にまつわるものは今保存しなければならないと強く思ひます。

*1 在日朝鮮人強制連行問題とのからみで。2昨今のPKO法案と重なり、我々日本人が今まで何をして、何をしてこなかつたのか、それを沈黙のうちに表しているものではないだろうか。日本人が、今、忘れようとしているもの、そしてこれから突き進もうとしているもの、それに対するくさびではないだろうか。

一九九二一年度
△△費賃納入について

お願ひ

- | | |
|--|--|
| <p>◆第四回総会が近づいていた。今まで沖縄、松代、高尾とみてきたが、作りかけのところもこうなつてたとは驚いた。この一年間に松代、高尾とみてきたが、作りかけのところもこうなつていたのかとわかつた。</p> <p>◆今年こそ地下壕の整備をしました。沖縄のガマに比べると、大変立派な地下壕で、びっくりしました。車中央と地上戦のあつた沖縄とは違いがありすぎます。戦争の論理は、結局軍中心ということなのであります。</p> <p>◆先日県知事の秘書の方に要請書を非公式ですが出してきました。</p> <p>◆四月一四日には国会議員団が調査のため地下壕に入る予定です。</p> <p>◆昨年から今年にかけて強制連行や従軍慰安婦の問題がクローズアップされ、歴史を正しく伝える必要性を痛感します。</p> <p>◆地下壕は生きた歴史教育の場です。保存運動が成功するよう、今後ともよろしくご支援の程をお願い致します。</p> | <p>とがなかつた。2戦中にこんな立派なコンクリートの壕を作っていた、しかも使つていたとは驚いた。今まで沖縄、松代、高尾とみてきたが、作りかけのところもこうなつていたのかとわかつた。</p> <p>◆今年こそ地下壕の整備を存運動にも弾みが付いてきました。</p> <p>◆今年こそ地下壕の整備存運動にも弾みが付いてきました。</p> <p>◆会員が飛躍的に増え、保存運動にも弾みが付いてきました。</p> <p>◆会員が飛躍的に増え、保存運動にも弾みが付いてきました。</p> |
|--|--|

○映画「戦争と青春」紹介

「戦争と青春」

一九九一年度の邦画界は、久びさに、黒沢明の「八月の狂詩曲」、今井正の「戦争と青春」、山田洋次の「息子」の三本の傑作が出た。特に「戦争と青春」は、日本では初めてという市民の出資、支援に支えられて完成した映画である。この映画は、太平洋戦争下、米軍による日本本土焦土作戦によって、広島・長崎をのぞいて最も悲惨な被害を出した一九四五年の「炎の夜」を映画化したものである。

脚本は、早乙女勝元が二〇年来の構想を自ら脚本化し、これに大沢豊、吉田憲二、橋祐典の三監督が協力して二年がかりで完成したものである。内容は、現代の一女子高生、花房ゆかり（工藤夕貴）が、夏休みに出された「戦争追体験」のレポートを書くために、親、家族、隣人、教師を通じ

て、東京大空襲を検証していく過程で、一家が背負つていい驚くべき重み、衝撃的な実を見聞きすることにより、やがて現在の人々が、何故か忘れつつある命がけの愛、青春を知り、日本の歴史の恥部を学んでいくというストーリーになっている。

監督は、「青い山脈」「ひめゆりの塔」「ここに泉あり」「純愛物語」その他の多くの映画を手がけ、その何れもがヒューマニズムを基調としていた今井正で、メガホンを取ったのは九年ぶりとか。

七九才の監督が作ったものは思えない迫力のある映画で、悲惨なシーンが隨所に出て、思わず涙がこぼれてくるが、意外にからつとした感じで、諦さがない。終わりも明るく締めくくられている。

クライマックスの空襲シーンは、御殿場市電が原で、総費用二億円を投じて組まれたセットに火が放たれて撮影された。

この時、工藤の頭が半分近く炎に包まれ、危険を感じた驚くべき重み、衝撃的な実を見聞きすることにより、やがて現在の人々が、何故か忘れつつある命がけの愛、青春を知り、日本の歴史の恥部を学んでいくというストーリーになつている。

工藤は、「空襲場面の撮影中、泣きだしそうな位怖かったんです。髪の毛や眉毛の一部を焦がしました。実際に猛火に巻き込まれた昔の人達は、どんなに辛かつたんだろう。そう、ひしひしと感じました」と。この映画は工藤自身の戦争追体験であつた。

工藤夕貴は、ゆかりとゆかりの叔母、つまり四五年前の咲子の二役として出演しているが、これは工藤の希望で決まつたという。それほど、この映画にかける工藤の意気込みは凄かつた。「たとえ、この映画を最期に女優をやめても悔いはない」とまで言い切っている。

映画は、焼け焦げた一本の電柱を中心に関連し、現代と四六年前の回想が交互に映し出される。回想はモノクロで

記録フィルムも使われ、映像

効果を盛り上げている。リアルに満ちた空襲シーン、焼け

跡の様子、螢が飛び交う幻想

スタッフが彼女を助けようと

思わず飛び出したという。

工藤は「空襲場面の撮影中、

助けかると分かっているのに、

監督は、「青い山脈」「ひ

めゆりの塔」「ここに泉あり」

「純愛物語」その他の多くの映

画を手がけ、その何れもがヒ

ューマニズムを基調としてい

た今井正で、メガホンを取つ

たのは九年ぶりとか。

七九才の監督が作ったもの

とは思えない迫力のある映画

で、悲惨なシーンが随所に出て、思わず涙がこぼれてくる

が、意外にからつとした感じで、諦さがない。終わりも明るく締めくくられている。

クライマックスの空襲シー

ン

ン

ン

ン

ン

ン

ン

ン

ン

ン

ン

ン

ン

ン

ン

ン

ン

ン

ン

ン

要　　書

神奈川県知事

長瀬　二　歳

連合艦隊司令部日吉台地下壕の保存をすすめる会

会長　永戸　多喜雄

事務局長　寺田　貞治

年度末で多忙な時期ですが、貴殿におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃、県民の平和で豊かな暮らしを実現するため、ご活躍されていることに対しまして、心より敬意を表します。

さて、貴殿におかれましては、旧海軍連合艦隊司令部日吉台地下壕の保存をすすめる会（略称：日吉台地下壕保存の会）があり、保存運動を展開していることは、すでにご存知のことだと思います。

神奈川県は、第二次大戦によって大きな被害を受けました。しかし地上にはやはや戦争の遺跡をとどめるものは殆どありません。

しかし、日吉の丘の地下には旧帝国海軍連合艦隊司令部の巨大な地下壕が眠っています。大戦末期約一年間、この日吉の司令部から様々な作戦命令が出されました。また、大本営軍令部の情報部も来ており、世界の軍事情報が集められていました。その他人事局・経理局、航空本部なども来ており、日吉は最も重要な軍事基地の一つがありました。このため、日吉地区は横浜大型艦の前にも大きな空襲が二度あり、大きな被害を受けました。

地下壕は海軍の設営隊と民間の労働者によつて掘られ、この中には少なくとも七〇〇人以上の朝鮮人労働者がいて、最も危険な場所の爆薬に従事したといわれています。

戦後は日吉に一九四九年まで進駐軍が駐留し、日吉の町は米軍の基地の町でありました。

このように、日吉台地下壕は、全国に数ある地下壕の中でも、当時最も重要なものであり、様々な戦争の実相が収集しているところです。この地下壕もいま残さなければ、神奈川県に大戦当時の激動の昭和史を語る標榜物は殆ど無くなってしまうでしょう。

私たちは、こうした貴重な遺産を、歴史の生き証人として、また戦争と平和を考える原点として、現在および後世の人々のために残したいと思っております。

つきましては、このような私たちの意図をお汲み取り下さいまして、

日吉台地下壕を史料として永く保存し、多くの人々が見学できるよう
に整備して頂きたく要請いたします。

なお、保存をすすめる会の連絡先は左記の通りです。

横浜市港北区下田町三一五一七

寺田貞治方

日吉台地下壕保存の会事務局

電話〇四五一五六一一一八二